

家庭教育の原点

岩手県立生涯学習推進センター
所長 佐々木 哲也

子育てを経験された方、現在子育て中の方は『家庭教育』の難しさを身に染みるほど痛感されていることでしょう。家庭教育の大切さを十分に自覚し、それぞれの地域で開催される家庭教育学級等に参加したり、参考図書や資料で学んだりしても、実際に我が子に向き合った時、さて何をどうしたらよいのかと迷い悩んでしまうことも多いのではないのでしょうか。

学校教育の場合は、施設設備が整えられた教育環境の中で、一定年齢に達した子どもたちを対象に、教師という専門知識を有する指導者集団が、指導要領に示されている指導内容を系統的・総合的に、教科書という教材を用いて、組織的に

教育活動を進めています。

対して家庭教育は、家庭を中心とする生活の場において、父母や家族が子どもを対象に行なう教育ということだけははっきりしているものの、教えるべき内容や方法を定めたものはありません。家庭教育は私的な教育であるという位置づけから、その内容や方法は各家庭の責任において行なわれるべきものということなのです。保護者としては頼るべき規準のようなものが無いということが、家庭教育を難しいもの、内容的に曖昧なものにしている理由の一つではあるのでしょうか、何か制約されることがないわけですから、おおよそに楽しみながら教育（子育て）ができるかと考え

てもよいわけですが。

以前、家庭教育に関するある研修会で、先輩のお母さん（Aさんといいます）がご自身の子育てについて次のような発表をされました。Aさんは家から持ってこられたティッシュボックス程の大きさのブリキの缶を大事そうに抱えて、これは私の大切な宝物ですと言ってその缶のふたを取って中を見せてくれました。中には、長さ5センチもない位の鉛筆がびっしり詰まっていた。その鉛筆はAさんの娘さんが小学校から高校までの間に使った物で、娘さんは短くなって使えな



佐々木哲也氏
プロフィール

昭和三十年生、大原中、紫波第二中教諭を経て、平成元年より胆江教育事務所・県教育委員会事務局社会教育課・県立生涯学習推進センター社会教育主事。平成十一年釜石第一中教頭、平成十四年県教育委員会事務局生涯学習文化課主任社会教育主事、平成十七年米崎中学校校長、平成二十年より現職

くなるとAさんにそれを渡してくれたのだそうです。Aさんは、娘がこんなに短くなるまで大切に使用してくれた鉛筆を捨てることができず、缶に入れて仕舞っていたらこんなになくさんになりましたと話してくださいました。さらに、家庭教育と言えようなことは何もできませんでしたが、物を大切に人間に育って

くれたことだけでも嬉しく思っています。苦労や悩んだこともありましたが、子育てを楽しもうという気持ちで子どもに接してきたことが、娘にも私自身にも良かったのではないかと思えます。皆さんもどうぞ子育てを楽しんでください。と参会者にメッセージを残してくれました。

Aさんは家庭教育してきたという意識はあまりないのかもしれない。しかし、娘にもらった使い古しの鉛筆を大切にしまっていたAさんですから、普段の生活の中でも、物を大事に丁寧に使っていたに違いありません。娘さんは、お母さんの日常の姿から「物を大切に使うこと」を学んだ

のだらうと思うのです。家庭教育とはそういうことなのだと教えていただいたように思ったことを覚えています。意図的に、あるいは計画的に教えるべきことを教えることも必要ではありませんが、本来的に子は親の姿から学ぶものであり、子どもにとって親の姿こそが教科書なのだろうと思うのです。

何を教えるべきか。いつ、どんな方法で教えようか。と考えると家庭教育は難しく、とても大変なことと思えてしまうのですが、「私が見せるから、同じようにしてみなさい」と考えれば、少し気持ちは楽になり、自信とやる気も出てくるのではないのでしょうか。

さらに付け加えれば、たとえ子どもの教科書となるような立派な親ではなくても、親自身が向上しようとする努力し続ける姿を見せることのほうが、子どもにとっては学ぶことが多いのではないかと思います。良いところも、悪いところも「子は親の鏡」。であるならば、親が頑張れば頑張る子が育ち、親が夢を持って生きて

いるならば子どもはやがて大志を抱くようになると思います。親や家族の生きる姿の中に家庭教育の原点と言えらるものではないかと思うのです。

親と教師が、そして地域の方々が、真摯に学び続け、真剣に生きる姿を子ども達に見せることで、子ども達の学習意欲や生活意欲を高めたようにしたのが教育振興運動であり、PTAはその中核母体として運動の実践に取り組んできました。学び続ける親、学び続ける教師でありたいと願うPTA活動の尊さとその価値の大きさを改めて確認したいものです。

なお、当センターでは子育てに関する各種情報の提供や相談を行なっておりますのでご利用ください。

